

JR総連青年協の単組定期委員会へ参加

JR東労組青年部第29回定期委員会の開催

2014年8月24日～25日にかけて、熱海後樂園ホテルにおいてJR東労組青年部第29回定期委員会が開催され、本部青年部から八文字副部長が参加してきました。定期委員会には総勢750名が結集し、準備委員会を横浜地本青年部が担い盛大に執り行われました。来賓では、東労組本部をはじめ、たしろかおる議員、美世志会の上原さん、システム労組青年部、鉄道ファミリー、韓国鉄道労組の仲間が駆けつけ、それぞれ連帯の挨拶を行いました。福田青年部長の挨拶では、平和と民主主義のたたかいに触れ、「第2次安倍政権が発足して以降、戦争のできる国づくりに向け直行している。また、新成長戦略では柔軟な働き方を名目に労働時間の規制緩和の導入を決定した。福島では、今も約13万人もの人たちが避難生活を余議なくされていますが、原発は『重要なベースロード電源』と位置づけ、再稼働を進める方針を明らかにしている。私たちは、戦争のない、原発のない、平和で安心して暮らせる社会の実現に向けたたしろかおる議員と連帯していきます。労使合意や労使協議が蔑ろにされる事態が発生をしている。正常な労使関係を構築しなければならない。労働三権の議論を深め、青年部と家族の利益を守るたたかいに決起しよう！」と力強く挨拶がされました。定期委員会を通じて、青年部機関の情報コンクールが行われ126機関の応募があり、各機関の部で表彰されました。質疑では、12地本青年部の代表者により活発な発言があり、大成功に定期委員会は終了しました。

JR北海道労組青年部第30回定期委員会の開催

2014年8月30日～31日にかけて、アパホテルTKPにおいてJR北海道労組青年部第30回定期委員会が開催され、本部青年部から八文字副部長が参加してきました。定期委員会には総勢140名が結集し、来賓にはJR北海道労組本部をはじめJR総連青年協から福田議長、美世志会の梁次さん、鉄道ファミリー、連合青年委員会、JR北海道労組OB会が参加し、それぞれ挨拶をされました。定期委員会休会後では、ジャーナリストの魚住昭さんから講演を頂きました。今定期委員会で竹中青年部長、原副部長が退任され、新たに中井青年部長、菊地副部長が選出されました。JR貨物労組青年部から共に安全確立に向けたたかっっていくことを確認し檄布を手渡しました。

